

令和 5 年度

学校関係者評価報告書

令和 6 年 7 月

学校法人朝日学園  
成田国際航空専門学校

## ○令和5年度 学校関係者評価報告書について

成田国際航空専門学校は、「工業分野」の専門課程の認可を受けた専修学校として、わが国の航空産業諸分野の中核を担う優れた人材を育成し社会の発展に寄与することを目的として運営されています。また、平成26年度に文部科学省から「職業実践専門課程」と認定された航空整備学科、およびグランドサポート学科では、航空分野の諸企業との密接な連携のもとに、「学校運営の適正化」および「教育内容の充実」が図られています。

本校では、平成25年4月に定めた「自己点検・評価規程」に従って、学校自己点検・評価委員会を設置し、「専修学校における学校評価ガイドライン」に沿って本校の運営および教育活動について自己点検・評価を実施し、真摯に学校評価に取り組み、現状の把握、課題及び今後の改善策を協議検討してまいりました。

以下、先般開催した学校関係者評価委員会の点検・評価について報告します。

### 1. 学校関係者評価委員会 実施日時・場所

令和6年6月19日（水） 14：00～16：00

成田国際航空専門学校 1号館 多目的ホール

### 2. 学校関係者評価実施方法

#### （1）実施組織：学校関係者評価委員会

##### ○評価委員

|           |                                    |
|-----------|------------------------------------|
| 大政 一幸     | 公益社団法人 日本航空技術協会 常務理事               |
| 百田 寛      | 株式会社 JAL エンジニアリング 総務部 組織・人財グループ長   |
| 熊谷 仁志     | 株式会社 IHI 航空・宇宙・防衛事業領域 瑞穂工場 武藏総務部主査 |
| 佐々木 孝明    | 多摩川スカイプレシジョン 株式会社 常務取締役            |
| 藤原 健太郎    | 株式会社 JAL グランドサービス 総務部 人財採用グループ 課長  |
| 垣入 克己     | 取手市小堀地区 区長                         |
| 円城寺 美紀子   | 成田国際航空専門学校 保護者代表                   |
| 岡野 文子     | 成田国際航空専門学校 保護者代表                   |
| 高橋 幸之助    | 成田国際航空専門学校 卒業生代表                   |
| 新妻 侑弥     | 成田国際航空専門学校 卒業生代表                   |
| （欠席）松本 幸広 | 株式会社インテックス 総務部付 担当部長               |

##### ○学校関係

|       |                        |
|-------|------------------------|
| 森北 美行 | 成田国際航空専門学校 副校長         |
| 河野 泰明 | 成田国際航空専門学校 航空整備学科長     |
| 関口 幸夫 | 成田国際航空専門学校 グランドサポート学科長 |
| 藤井 伸一 | 成田国際航空専門学校 教務課長        |

#### （2）評価基準：文部科学省「専修学校における学校評価ガイドライン」に準拠

#### （3）評価方法：令和5年度 学校自己点検・評価報告書に対する学校関係者評価

3. 自己評価は、以下の10項目を実施しました。

- (1) 教育理念・目標
- (2) 学校運営
- (3) 教育活動
- (4) 学修成果
- (5) 学生支援
- (6) 教育環境
- (7) 学生の受入れ募集
- (8) 財務
- (9) 法令等の遵守
- (10) 社会貢献・地域貢献

4. 評価項目に対する評価

- (1) 次の4段階(\*)をもとに「学校自己点検・評価報告書」の各評価項目の平均点を小数点以下第1位までを評価。  
(\*) 4段階：適切-4、ほぼ適切-3、やや不適切-2、不適切-1
- (2) 委員会で出された意見や質疑、提案事項を記載。

5. その他

令和5年度 学校自己点検・評価報告書を併せご覧ください。

### 評価項目の達成及び取組状況

#### (1) 教育理念・目標

**評価 4. 0**

- ・ 学校自己点検・評価報告書記載の通り承認された。

#### (2) 学校運営

**評価 4. 0**

- ・ 学校自己点検・評価報告書記載の通り承認された。

#### (3) 教育活動

**評価 3. 8**

- ・ 評価項目7項、「授業評価の実施・評価体制はあるか」に関して、総じてアンケート結果に対して、学校側の評価、傾向として見えてきたところ、今後何をやって行かないといけないのか？見えてきたものは何か？

～見えてきたものは、その教科に対し学生がどのような思いでやっているか？（授業を受けているか）が見えた。先生の黒板の使い方、声の大きさ、説明の仕方等、又カリキュラムの内容に対して、もう少し実習がしたい、説明だけでなく実物を見たほうが分かり易い等、教育に対する改善の意見があり、それぞれの先生方にフィードバックされている。この点は昨年来と変更はないが、今回は英語の授業に関して、昨年度（R5年度）からカリキュラムを変えた（途中から英検対応に変更）ことが影響し、『英語の授業時間が少ない』『もっと英語の授業を増やして欲しい』とのアンケート意見が多かった。これらの意見も参考に、今年度（R6年度）から英語の授業時間を増やした。

- ・ 評価項目10項、「資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか」に関して「英語の教育を見直している」とあるが、具体的な効果は生まれているのか？

～英検を実施することにより、強制ではないが受験する学生がはるかに増えた。以前は受験する学生は少なかったが、この学校を準会場としたことで検定料も安くなり、

バスでの送迎もあることから大幅に増えた。成果としては検定に合格することであるが、まずは受験者数が増えれば一つのステップになり、効果があったと考える。

- 評価項目 10 項、「資格取得等に関し」、息子も危険物乙種に挑戦しているが、資格取得がこんなに難しいとは認識していなかった。高校は普通科だったので、工業高校に比べ不利ではないかと心配なところがある。危険物の授業で判らないことは先生に聞いたりするが、放課後となり下校時はバスを利用している。学校は駅まで遠く離れていて、時間的に放課後残って 10 分、20 分待って聞くことが困難と考えるが、試験前等の時間外の対応は何かあるのか？  
～グランドサポート学科は、授業が午前中のみ午後からの場合もある。バスについては都度運行している。個別に補習した場合は、それに合わせ駅まで送っている。又、普通科卒に対する不安に関しては無用と考える。当校に入学してくる学生は普通科卒の方が多く、工業高校卒の学生は機械/電気といった専門門科目を多く学習していくが、普通科は英語等を多く学習していく。多少の有利不利はあるが、飛行機の事は皆が同じレベルでスタートするので大きな差はなく、要は入学してからの本人の努力次第と考える。
- その他の項目は、学校自己点検・評価報告書記載の通り承認された。

#### (4) 学修成果

#### 評価 3. 8

- 評価項目 2 項、「資格取得率の向上が図られているか」に関して、『航空整備学科では、1 年次にコース分けを実施するが、その見極めの為の判断基準に適性試験を導入した』とある。実際の振分はどのように行うのか？  
～昨年までのコース分けの実態につき概要を説明。
- 適性試験は来年度以降もそのような使い方をするのか？  
～当校に入学してくる学生が一律に試験をすれば良いが、学校推薦を含め試験なしで入学してくる学生もいる。各学生のレベルを把握することが難しくその為に適性試験を今後も継続していく。
- その他の項目は、学校自己点検・評価報告書記載の通り承認された。

#### (5) 学生支援

#### 評価 3. 8

- 評価項目 5 項、「卒業生への支援体制はあるか」に関して、卒業生と現役学生との交流の場を設けているか？ 入学前に色々な活動をされていることは理解した。結果として入学生も増え喜ばしいことであるが、学生は卒業してからのキャリアパスについて興味を持っていると考える。弊社の社員から『是非現役の学生と交流を持てる場を復活してほしい』という意見が上がっている。例えば以前行っていた文化祭等で、卒業生が気軽に帰って来て現役の学生と話すことで、自分の将来像が見えてくるのではないか。色々な意味で余裕が出てきてから検討願いたい。  
～卒業生との交流は、卒業生が企業説明会に来校して話される場、我々が企業研修に行く場等に限られているので、違った機会に交流が出来るよう検討したい。
- 評価項目 3 項、「学生に対する経済的な支援体制は整備されているか」に関して、奨学金制度の記載があるが、どのくらいの応募があるのか？  
～給付型の奨学金：7 名、第一種：13 名、第二種：16 名 合計 36 名（内 8 名が重複利用）人数比では 35%が利用しています。
- 評価項目 3 項、「学生に対する経済的な支援体制は整備されているか」に関して、学校独自の奨学金制度は設定しているか？  
～昨年度（R5）に当校独自の奨学金制度（＊）を導入した。但し、対象学生は来年の入学生。（＊）：成績優秀者に対する特待制度
- その他の項目は、学校自己点検・評価報告書記載の通り承認された。

**(6) 教育環境**

**評価 4. 0**

- ・ 学校自己点検・評価報告書記載の通り承認された。

**(7) 学生の受け入れ募集**

**評価 4. 0**

- ・ 評価項目 1 項、「学生募集活動は、適正に行われているか」に対し、現在の課題について伺いたい。  
～課題は、航空整備学科への応募が少なく人気が上がっていない。対してグランドサポート学科は応募が多く、人気が出てきている。航空整備学科により多く入ってもらう為、種々の施策を関連企業・日本航空技術協会を交えて活動してゆく必要があると考える。
- ・ その他の項目は、学校自己点検・評価報告書記載の通り承認された。

**(8) 財務**

**評価 4. 0**

- ・ 学校自己点検・評価報告書記載の通り承認された。

**(9) 法令等の遵守**

**評価 3. 6**

- ・ 学校自己点検・評価報告書記載の通り承認された。

**(10) 社会貢献・地域貢献**

**評価 3. 3**

- ・ 評価項 2 項、「学生のボランティア活動を支援しているか」に対し、昨年も申し上げたが、この地区的イベントは殆どが土・日に実施しているので、学生さんに依頼することは出来ない。今年のイベント（取手の花火大会）も既に日にちが決まっていて、8/10（土）が花火当日で翌 11（日）が清掃日となっている。  
～学科毎に我々だけで学校周りの清掃を検討している。タイアップは難しいが、出来ることから始めようと考えている。
- ・ その他の項目は、学校自己点検・評価報告書記載の通り承認された。

以上